

平成 20 年度 2 月補正予算案のポイント

1 2 月補正予算案の考え方

迅速・的確な経済・雇用対策の実施

補正規模 238 億円

平成 20 年度 12 月補正予算及び平成 21 年度予算と連動させるいわゆる 15 ヶ月予算の一部として、喫緊の課題である「緊急経済・雇用対策」を強力に推進するとともに、本市の重点施策である「環境モデル都市」、「中心市街地活性化」関連事業の執行を前倒しし、その早期実現を図ります。

この結果、一般会計の 2 月補正予算案の規模（238 億円）としては、大きい方から 3 番目となっています。

2 緊急経済・雇用対策（226 億円）の概要

()は再掲

(1) 公共事業等の追加 **58 億 1400 万円**

国の 2 次補正	39 億 9000 万円
地域活性化・生活対策臨時交付金事業	7 億 7200 万円
市単独事業	10 億 5200 万円

(2) 雇用対策 **1 億 9800 万円**

緊急雇用対策	1 億 9800 万円
西部地区就業支援センター	(4000 万円)

(3) 消費喚起対策 **165 億 4600 万円**

定額給付金	159 億 3000 万円
子育て応援特別手当	6 億 1600 万円

重点施策の前倒し執行

- ・環境モデル都市の推進 (5395 万円)
- ・中心市街地の活性化 (2000 万円)

(参考)

公共事業等（投資的経費 + 維持補修費）の状況について

12 月補正の公共事業等 44 億円を加えた追加事業量 **100 億円**

(平成 15 年度以降の 2 月補正では最大規模)

2 月補正の単独公共事業等の規模（約 17 億円）は、平成 8 年度以降は最大規模の補正

15 ヶ月予算の公共事業等 **対 20 年度当初予算比 + 6.7%**

21 年度予算の事業量に 20 年度 12 月、2 月補正予算の事業量を加えた 15 ヶ月予算としてみた場合 831 億円 (対 20 年度当初予算 + 6.7%)